

コロナ禍の今、SDGsの達成に貢献する国際支援 フィリピン・セブ島の貧困救済プロジェクト 健康栄養学科の学生が栄養改善提案 通訳コースの学生が通訳

コロナ禍で海外との直接交流が難しくなっている中、広島修道大学では、オンラインで可能な国際貢献への挑戦として、「セブ島貧困地区住民の栄養状態の改善」を支援するプロジェクトを行っています。本プロジェクトは、人文学部英語英文学科と健康科学部健康栄養学科が各学科の学びを活かし、現地NPOと連携し、「もの」の支援だけではなく、主に「知識」を提供することで、持続的・長期的に貧困地区住民の生活習慣を改善することをねらいとしています。

本件の概要：

人文学部では、以前よりフィリピン・セブ島における貧困支援活動について学ぶため海外インターンシップを実施していました。2021年度、海外インターンシップの繋がりを生かし、現地で支援活動に携わるNPO法人と連携し、「セブ島貧困地区住民の栄養状態の改善」を目的に、長期的視点から社会的貧困問題の解決をめざす活動の一環として、食の視点から「もの」だけではなく「知識」を提供する支援を実施します。

プロジェクトには、人文学部英語英文学科通訳コースの学生と健康科学部健康栄養学科栢下教授のゼミの学生が参加。現地の生活状況、栄養事情を調査し、健康栄養学科の学生が貧困層住民の栄養に対する考え方を改善するための方法を提案します。通訳コースの学生は、言語の違いによるコミュニケーションの問題解決のため、ビデオ会議システムなどを使用し、リアルタイムで英語・日本語間のコミュニケーションを担当します。栄養学と通訳という全く異なる専門領域を重ねることで、普段のキャンパスでの学びを国際貢献に活かし、人類共通の課題であるSDGs（1：貧困をなくそう、2：飢餓をゼロに）の達成に貢献していきます。

後期日程： 別紙のとおり

特設ページ：<https://www.shudo-u.ac.jp/academics/human/povertyrelief.html>
(前期の活動内容等をご確認いただけます)



以上

【本件に関するお問い合わせ】

広島修道大学学長室総合企画課 吉岡・本多・俵

Tel：082-830-1102 Fax：082-830-1324

公式サイト：<https://www.shudo-u.ac.jp/> 《Facebook 公開中》 Eメール：kouhou@js.shudo-u.ac.jp

● 活動行程案

行程 番号	活動項目	内容	実施時期	教室
1	講義	団体理念と事業概要についての講義（内山）。 今期の指針と目標についての説明（栢下）。	9月17日	まなびホール
2	団体奨学生への情報提供依頼	栢下ゼミ生が直接セブの団体奨学生に聞き取り。通訳コース生が通訳。（ブレイクアウトルームで3グループに分ける。）	10月1日	8202教室
3	団体奨学生からの情報確認と聞き取り	栢下ゼミ生がセブの団体奨学生に情報提供依頼。通訳コース生が通訳。（全体プレゼンの後、3グループに分ける。）	10月15日	8202教室
4	問診デモ1	栢下ゼミ生が直接セブの団体奨学生に問診デモ。現地ソーシャルワーカー同席。通訳コース生が通訳。（ブレイクアウトルームで3グループに分ける。）	11月19日	8202教室
5	問診デモ2	栢下ゼミ生が直接セブの団体奨学生に問診デモ。現地ソーシャルワーカー同席。通訳コース生が通訳。（ブレイクアウトルームで3グループに分ける。）	12月3日	8202教室
6	質問会	内山氏への質問会。	12月10日	8202教室
7	団体奨学生などへのプレゼン	オンラインでの交流。栢下ゼミ生が直接セブの団体奨学生にプレゼン。通訳コース生が同時通訳。ブレイクアウトルームで団体奨学生の反応を確認。	1月28日	8202教室